

「世代を越えてつながる居場所」

既存の市民活動を周知することで
新たな活動参加メンバーが増える流れをつくる



まずは既存の活動をより多くの人に知ってもらうことで
新たな活動参加者が増えるように促し、
世代を越えてつながる居場所の規模拡大をめざす

現状の問題・課題

- ①地域内の交流が減った
- ②市内の情報が分散している
- ③交流館が借りにくい
- ④開催場所の確保が難しい

参考事例・備考

- ・地元企業
- ・フードバンク福山（NPO 法人）
- ・ほっこり食堂（場所の提供）

各主体の役割・取組

市民

- ・既存のボランティア活動に参加する
- ・物資の提供（食材など）
- ・企業への呼びかけ
- ・周囲の人への呼びかけ

企業

- ・HP上で既存の活動情報の整理
- ・物資の提供（食材/衣類等）
- ・場所の提供
- ・地域活動の支援
- ・支援金/補助金/助成金の提供

- ・場所の提供
- ・団体同士での情報共有
- ・情報発信

子育て支援団体